

大学院看護学研究科 博士前期課程		授業 科目	精神看護援助論 I Nursing Care of Psychiatric and Mental Health Nursing I			担当 教員	安藤幸子（専任） 植本雅治（専任）	
開講年次	1年次前期	単位数	2単位	科目 分類	専門科目	授業形態	ゼミ	
選択必修	必須	時間数	30時間			使用教室		
授業の目的及びねらい		<p>精神疾患に関する最新の治療方法と看護援助、向精神薬の作用機序とその副作用、服用方法などに対する理解を深め、薬物療法に対する患者や家族の相談および現場の看護職の相談に応じられる能力を習得する。また複雑な問題を抱える精神疾患患者に対するアセスメントと援助方法について講義、文献、事例を通して学び、専門看護師として優れた実践やコンサルテーションができる能力を習得する。</p>						
授業のキーワード								
講義回数	授業内容及び計画							
第1回	最新の精神科治療の動向							
第2回	向精神薬の作用機序と副作用 1							
第3回	向精神薬の作用機序と副作用 2							
第4～5回	精神症状に影響を及ぼす身体治療薬							
第6回	薬物療法を受けている患者のアセスメントと看護援助							
第7回	服薬自己管理に向けた支援方法							
第8回	薬物療法を受けている患者と家族が抱える生活上の困難や疑問とその援助方法							
第9回	種々の疾患を抱える患者に対するアセスメントの方法および最新の治療方法や援助方法を講義、文献、事例を通して学ぶ。							
第10回	対応が難しい統合失調症患者のアセスメントと看護援助							
第11回	対応が難しい気分障害患者のアセスメントと看護援助							
第12回	対応が難しい不安障害患者のアセスメントと看護援助							
第13回	対応が難しい物質関連障害患者のアセスメントと看護援助							
第14回	対応が難しい身体表現性障害患者のアセスメントと看護援助							
第15回	対応が難しいパーソナリティ障害患者のアセスメントと看護援助							
第16回	対応が難しい摂食障害患者のアセスメントと看護援助							
第17回	対応が難しいせん妄状態にある患者のアセスメントと看護援助							
第18回	対応が難しい発達障害患者のアセスメントと看護援助							
テキスト	なし							
参考文献	授業中に提示します							
成績評価の方法	プレゼンテーション、ディスカッション、演習（80%）、課題レポート（20%）							
教員から学生へのメッセージ	<p>授業は主にプレゼンテーションとディスカッションで進めます。学生が過去に受け持った困難事例の検討も含めます。</p>							